

委員会の趣旨・ 今後のスケジュールについて

設置目的

市役所庁舎及び市立安芸中学校跡地について、
複数の検討手法を用いて、有効な活用方法を検討する。

●アンケート調査

- ・広く意見や意思を把握
- ・多くの意見等を集め、検討の幅を広げる

●ワークショップ

- ・複数人で協議することにより、考えが深まる
- ・集約された意見を得られる

●意見の公募(パブリックコメント)

- ・広く意見を求めることができる

●説明会

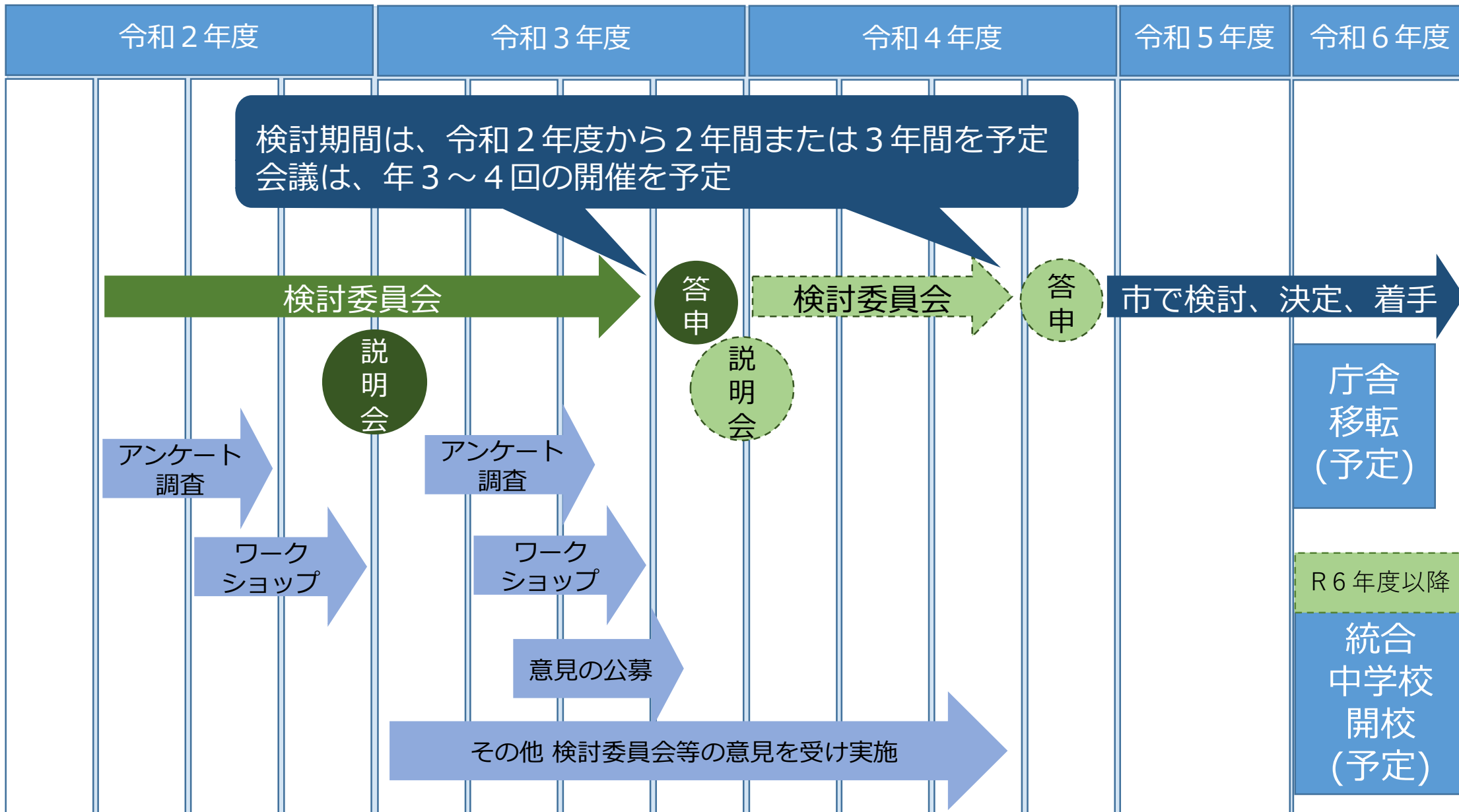
- ・市民が委員会に対し意見を直接伝えることができる
- ・跡地活用の現状を伝えられる

最終目的

複数の検討手法を用いて得られた結果から、活用案の比較・検討を行い、最終的な推奨案を絞り込む。

→ 委員会で決定した活用方針(案)を市長へ答申

今後のスケジュール



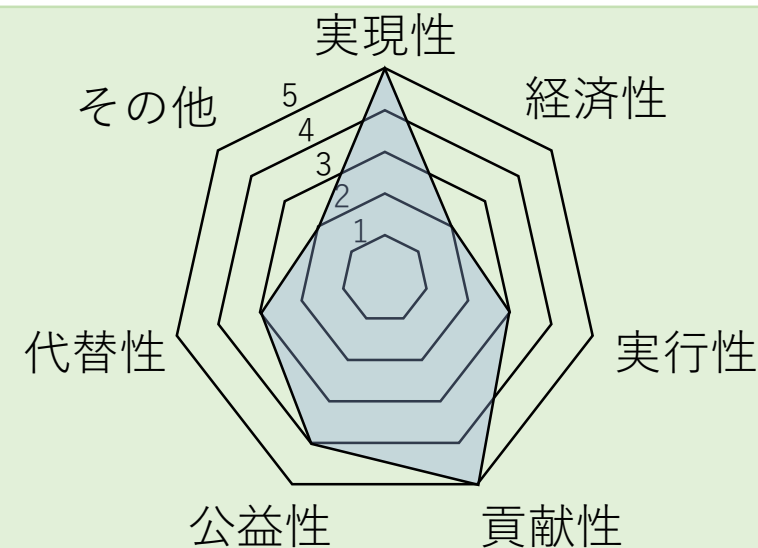
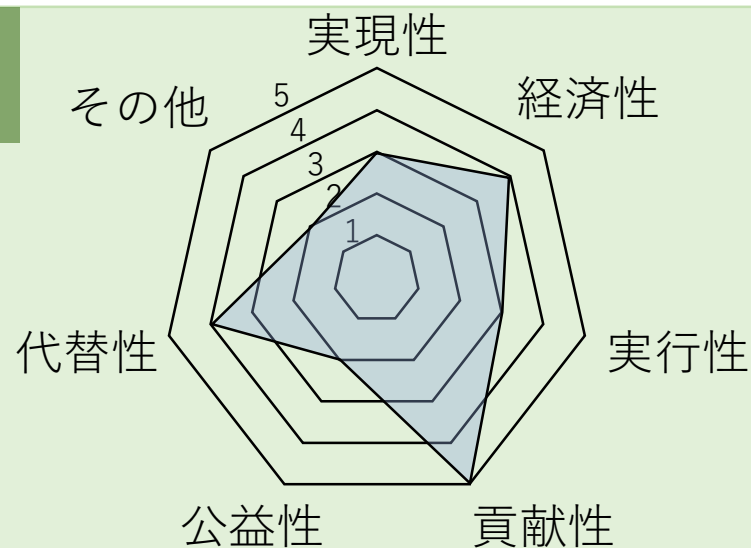
※庁舎移転と統合中学校開校の時期が異なることや、委員会での協議の進み具合、新たな課題への対応等、状況に応じて検討期間を調整できるような柔軟な対応も必要となる。

検討にあたり考慮すべき観点

実現性	費用、財源、事業主体確保の難易度・可能性
経済性	投資効果、ランニングコストの多少
実行性	リスクの大小
貢献性	効果の質や活性化の度合、期待される副次効果、回遊性の誘因度、利用見込み者数の多少
公益性	公益度、市民ニーズ
代替性	必要性、重複施設の状況、民間の関与度、適地性
その他	生活、周辺環境への悪影響の度合い、緊急性

選定された複数の案を比較するために、各項目を点数化するなどにより可視化することが考えられる。

レーダーチャートの例



●安芸市公共施設等総合管理計画

基本方針

《公共施設等》（抜粋）

- ・30年後、50年後を見越した最適な総量管理に努める。
- ・新規整備・更新等を実施する場合は、施設の複合化・集約化を検討することを基本とし、管理・運営方法の効率化にも重点を置いた制度設計に取り組む。
- ・民間活力の導入として、PPP/PFIなどについても検討する。

●安芸市都市計画マスタープラン

地域別の構想（安芸町地域）

《地域の将来像》

暮らしと魅力の中心拠点

健康で安全な暮らしと新たな魅力・活力のある安芸市中心拠点

《主要施策》（抜粋）

○「（現行）市役所」の跡地利用

中心市街地としての立地特性を活かし、にぎわいづくりなどによる市街地の活性化を図るための土地利用について検討

○「市立安芸中学校」の跡地利用

中心市街地、海岸部、中山間地域などの立地特性に配慮し、安芸中IC(仮称)などを結ぶ多様な機能について、地域の魅力づくりのための土地利用について検討

